

熱地被服ノ種類、性能及使用法

種類及性能

種別	防 暑 帽
形	舊式品 帽體ニ竹又ハ「フエルト」ヲ用ヒ天井及兩側ニ通氣孔ヲ附セルモノ及天井ノミニ通氣孔ヲ附セルモノアリ 規格低下品トシテハ帽體ニ經木、眞田、麻、眞田併用、木通杞柳、麥桿、林投ヲ用ヒタルモノアリ
狀	熱地ニ於ケル強烈シナル直射光線ヲ遮斷シテ頭部ヲ防護スルト共ニ防雨ノ防具ト共ニ鐵帽ノ熱ヲ防止ス
性能	
現制品	ス帽體ニ竹ヲ用ヒ通氣孔ヲ附セ

1892

防 暑 褌		試製防暑袴	防 暑 衣 袴	
	現製品		試製品	現製品
地質、夏褌ニ準ジ綾木綿製ノモノ或ハ麻地製ノモノ	「フランネル」製トツ襟ヲ開襟トセル外概ネ夏褌袴下ニ準ス	長サ膝部ヲ覆フ半袴式トス	衣ノ袖口ヲ喇叭型トシ之ヲ捲キ上ゲ肩部ニテ釦止シ得ル如キ構造トス 袴、半袴式トス	衣、開襟式立折襟トシ脇下ニ通氣孔ヲ附ス 胸部物入ハ外縫式トス 其ノ他夏衣袴ニ準ズ
	防暑衣ニ代ヘ之ヲ用フルト共ニ宿營時ノ用ニ供ス	脚部ノ通風ヲ良好ナラシム	努メテ通風の構造トシ蒸熱感ヲ緩和ス	

五

1893

防水外套		試製夏袴	袴袴下
試製品	現製品		試製品
上翼下翼ヨリ成ル「トンビ」式 トシ總丈膝部ヲ覆フ、頭巾ヲ	材質、完全防水布製トス 形状、頭巾ヲ附セス襟ヲ折襟 ケタル腋外雨外通氣孔ヲ設	襟ヲ立折襟式開襟トシ襟章ヲ 附ス袖丈ハ半袖式及長袖式ノ 二種アリ	形状、襟ハ開襟式トシ襟章ヲ 附ス腋下ニ通氣孔ヲ設 袖ハ長袖七分袖ノ二種 アリ
形状ヲ根本的ニ改メ 通風性ヲ増大スルト	熱地特有ノ驟雨ニ對 シ防雨ヲ完全ナラシム	袴袴ノミニ依ル行動 ヲ可能ナラシム	衣ニ代ヘ之ヲ單獨ニ 着用シ得ル如キ構造ニ トシ且ツ通風性ヲ増 大ス

六

1894

面覆蚊防		袋手蚊防	布敷濕防	
試製品	現製品	現製品	現製品	
シ防著 支柱材 ヲ上ヨ リ覆フ 圓筒形 トセス	鐵蚊帳 線帳地 ニ依ル 小田原 螺旋ヲ 附ス	如必要 キニ應 ジ指先 ヲ露出 シ得ル	形材質、 狀、完全 邊○長サ ニ○一、 鉤ヲノ八 附ス長八 ス方〇耗 形トシ幅 周八	附 セス
ニ鐵叉刺蚊、 便線試傷、 セヲ製防、 ム廢品止、 シシニ用、 ム携在ノ 行リニ 保テハ 存ハスル		利ヲ用濕 用ニ潤地 天ニニ於 幕供ス 跡スル 簡トケ 易ル 雨共 覆ニ露 ニ營		ム防共 雨ニ ヲ背 モ囊 等裝 具類 ナラ シノ

1895

鐵帽覆	腹 卷	遮光 眼鏡	眼 簾	
現 制 品	現 制 品	現 制 品	規 格 低 下 品	現 製 品
綿布地ノ間ニ斷熱材トシテ眞 綿ヲ入レ鐵帽ノ上ニ覆フ構造 トス	「フランネル」製トシ幅約三八 〇耗長サ約一八五〇耗ノ布 地トス 「フラシネル」ニ代ヘ綿ネル製 ノモノアリ	黃色硝子製普通眼鏡ノ形狀ト ス	馬毛ニ代ヘ紙織地トス	馬毛製ニシテ兩眼部ヲ覆フ長 方形トシ紐ヲ附シ耳部ニ止ム
鐵帽ノ灼熱防止ノ用 ニ供ス	腹部保温布トシテ宿 營時ノ氣温ノ低下ニ 備フ	強烈ナル紫外線ニ依 スル眼疾豫防ノ用ニ供 ス		

八

1896

馬用眼鏡	馬用防暑帽	略帽 垂布
試製品	試製品	現製品
リ 棉皮製「スグレ」式「モノ」セ ロフアン」製長方形ノモノア	材質、「ヘチマ」、疊表、布地、 「アンベラ」製等ノ各種 形状、圓形ニシテ中央ニ二個 スノ耳穴ヲ設ケ締紐ヲ附	略帽ノ後邊ニ附着スヘキ四片 式垂布トス
ニル強烈ナル紫外線ニ依 供馬ノ眼疾防止ノ用ス	ス依ル強烈ナル直射光線ニ 馬ノ頭部ヲ防護ス	略帽着用時後頭部ノ 日射ヲ防止ス

1897

二、使用法(附圖參照)

防 暑 帽						種 別
6	5	4	3	2	1	使 用 法
必要ニ應シ帽垂布ヲ附スルトキハ後頭部ノ直射光線	防暑帽ハ熱地ニ於ケル頭部防護上必要缺クヘカラサ	防暑帽ハ熱地ニ於ケル頭部防護上必要缺クヘカラサ	防暑帽ハ熱地ニ於ケル頭部防護上必要缺クヘカラサ	防暑帽ハ熱地ニ於ケル頭部防護上必要缺クヘカラサ	防暑帽ハ熱地ニ於ケル頭部防護上必要缺クヘカラサ	防暑帽ハ熱地ニ於ケル頭部防護上必要缺クヘカラサ

1898

6 5 4 3 2 1

大小區分適合左ノ如シ
 大 夏衣袴 一號、二號著用者
 中 同 三號、四號著用者
 小 同 五號、六號著用者
 腋下通氣孔ハ通常之ヲ開キ置クモノトス
 夜間冷氣ヲ覺ユル場合ハ防蚊等ノ願慮ヲ要スル場
 合ハ通氣孔ヲ閉チ襟ヲ詰ムモノトス
 酷熱時衣ハ襦袢ト併用スルトキハ蒸熱ヲ感スル度大
 ナルヲ以テ狀況ニ應シ之ヲ單獨ニ用フルコトヲ得
 袴ハ袴下ト併用スルトキハ若干蒸熱ヲ感スルモ上半
 身ニ比シ凌キ難キ程度ニ非ス
 ノ戰鬪行動上脚部ノ防護全カラス且ツ衣ニ比シ汚損
 度大ナルト其ニ之ニ依リ皮膚疾患ヲ生シ易シ故ニ
 營内起居時等ヲ除キ袴下ト併用スルヲ可トス
 又半袴ニ在リテハ之ヲ單獨ニ用フルトキハ膝下裸ト
 ナリ爲ニ卷脚絆脫落シ易シ
 試製半袴ノ裾紐ハ戰鬪行動、乘馬、「ジャングル」通

防護ニ效果アリ

1899

111

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

防 水 外 套

1

3 2

防濕敷布ハ主トシテ濕潤地ニ於ケル露營ノ際使用ス

現製品一號ニ分シ、六號ニ分シ、夏衣袴ノ適合ニ同シ
 試製品大、中、小、雨、外、套、ニ準ス
 現製品使用法ハ左ノ如シ
 試製品使用法ハ左ノ如シ
 (イ) 装具ヲ著セサル場合ハ「トンビ」(二重マン
 (ロ) 装具ヲ著セサル場合ハ「トンビ」(二重マン
 (ハ) 著シタル後、本防具ノ上方ニ捲リ上ケタル後、下翼
 ノ上ニ著シタル後、本防具ノ上方ニ捲リ上ケタル後、下翼
 風雨時ニ於テハ、上翼ヲ合ハシ、下翼ヲ合ハシ、上翼ヲ合ハシ、
 ヲ締メ、前ニ於テハ、上翼ヲ合ハシ、下翼ヲ合ハシ、上翼ヲ合ハシ、
 (ニ) 下縁ノ各三箇ノ上、鉤トシテ、締メ、前ニ於テハ、上翼ヲ合ハシ、
 但シ、左ノ各三箇ノ上、鉤トシテ、締メ、前ニ於テハ、上翼ヲ合ハシ、
 掛ケハ、左右各二箇ノ上、鉤トシテ、締メ、前ニ於テハ、上翼ヲ合ハシ、

1901

防 濕 敷 布				防 蚊 覆 面			
2	3	4	5	1	2	3	
防 シ テ 利 用 ス ル 敷 布 ハ 要 ス レ ハ 天 幕 又 ハ 雨 覆 ニ 應 用 ス ル コ ト ヲ	得 ル 天 幕 ニ 應 用 ス ル 場 合 ハ 一 枚 又 ハ 數 枚 ヲ 繼 合 セ テ 使 用 ス ル コ ト ヲ	天 幕 ニ 應 用 ス ル 場 合 ハ 一 枚 又 ハ 數 枚 ヲ 繼 合 セ テ 使 用 ス ル コ ト ヲ	支 柱 ノ 控 杭 、 張 綱 ハ 現 地 ノ 木 竹 類 等 應 用 材 料 ヲ 利 用 ス ル コ ト ヲ	雨 覆 ニ 應 用 ス ル 場 合 ハ 雙 手 ヲ 以 テ 其 ノ 長 邊 ヲ 持 チ 其 中 央 ヲ 肩 ニ 掛 ケ 前 面 ニ 於 テ 鉤 掛 ケ ス ル モ ノ ト ス	防 蚊 覆 面 ハ 宿 營 間 又 ハ 立 哨 勤 務 中 等 ニ 於 テ 蚊 族 、 蚋 等 虫 類 防 止 ノ 爲 ニ 使 用 ス ル モ ト ス	「 マ ラ リ ヤ 」 ニ 流 行 地 方 ニ 在 リ テ ハ 特 ニ 防 蚊 覆 面 ノ 使 用 ニ 注 意 シ 、 常 ニ 完 全 ナ ル モ ノ ヲ 準 備 ス ル ヲ 要 ス	防 蚊 覆 面 ヲ 携 行 ス ル 場 合 ハ 通 常 背 囊 又 ハ 旅 囊 ニ 附 著 コ ト ヲ 得 ル

1902

遮光眼鏡		防蚊手袋	
3	2	3	2 1
遮光眼鏡ハ直射ノ光ノ強烈ナル爲ニ於テ 使用シ眼鏡ノ防止ニ備フルモ ノトス 視號通信、歩哨、斥候等ノ如ク特ニ視力鋭敏ヲ必要 トシ或ハ一、地ヲ永ク凝視スルヲ必要トス 任務ニ服スルモノハ本裝備ヲ必要トス 任務ニ服スルモノハ本裝備ヲ必要トス 遮光眼鏡ハ破損シ易キハ冬季氷雪地等ニ於テモ使用セラ ルモノトス		防蚊手袋ハ防蚊覆面ト共ニ用フ 防蚊手袋ヲ著用スルニハ釣紐ヲ肩ニ掛け其ノ長サヲ 各自ノ腕長ニ適應スル如ク締結ス 指先ノ操作ヲ要スル場合ハ掌部ニアル指出孔ヨリ指 ヲ出スモノトス	

スルモノトス

1903

布垂帽略	覆帽鐵	卷腹	簾眼
2 1	3 2 1	2 1	
略帽ノ後邊ニ之ヲ接續シ直射日光ニ依ル後頭部防護 ノ用ニ供ス 接續ノ場合ハ略帽後面調節紐ヲ垂布ノ中央ニ設ケア ル二個ノ穴ニ通シ之ヲ結ヒ垂布ニ附シアル四箇ノ 「コハゼ」又ハ「ホック」ヲ略帽周邊ニ掛ク	鐵帽覆ハ鐵帽ノ灼熱ヲ防止スルノ用ニ供ス 著用中特ニ叢林通過時等ノ場合締紐ノ弛緩ニ依リ脱 落スルノ虞アルヲ以テ注意ヲ要ス 鐵帽覆ハ熱地ノ外寒地ニ於テ冷凍防止ニ使用セラル ルモノトス	腹卷ハ宿營時氣溫ノ低下ニ依ル腹部ノ保温布トシテ 之ヲ用フ 著用ニ際シテハ幅ヲ二ツ折トシ使用スルモノトス	眼簾ノ用途及使用法ハ遮光眼鏡ニ準ス但シ眼簾ハ遮 光眼鏡ヲ使用セサル一般ノ者ノ使用ニ供スルモノト ス

1904

馬用 眼簾	馬用 防暑 帽	
2 1 強烈ナル紫外線ニ依ル馬ノ眼疾防止ノ用ニ供ス 馬ノ兩眼ヲ覆ヒ兩端ノ紐ヲ頭絡ニ結ヒ止ム	2 1 直射光線ニ依ル馬ノ頭部防護ノ用ニ供ス 中央二個ノ穴ニ耳ヲ嵌メ前方紐ヲ頬革ニ結ヒ後方紐ヲ首ニ結フモノトス	3 略帽垂布ハ紛失シ易キヲ以テ注意ヲ要ス

第三章 熱地ニ於ケル裝具類ノ使用法

一、背囊、脊負袋

背囊、脊負袋ノ地資ノ防水ハ熱地特有ノ「スコール」ニ對シ尙十分ナラス而シテ高濕ナル熱地ニ於テ一度内容品ヲ濕潤セシムルトキハ爾後

1905